

# 灣 净土真宗本願寺派



# 参式の













この子が生まれて思うことがあります。 親として、ただ幸せになってほしいだけではダメだと。

幸せなときだけが人生じゃない。 つらいとき、苦しいときだってある。

思い通りにはならないことが多い人生を しっかりと歩んでいける人になってほしいと。

仏教のおしえの中にはそれがあります。 だから、ここから始めます。

# 初参式のススメ

# 本願寺山口別院

山口教区教務所 山口市小郡花園町 3 — 7 Tel083-973-4111 http://yamaguchibetsuin.net

赤ちゃんが生まれて、初めてお寺にお参りする大切な儀式を初参式といいます。 初参式は、親子・家族そろっての最初の仏縁。いのちの誕生を仏さまに報告します。 新しいいのちの歩みを、初参式から始めましょう。

# 願いの中に育まれて

新しいいのち。それはご両親だけでなく、ご縁ある皆さんの願いを受けて生まれてきました。人としていのち恵まれることは、とてつもなく難しいことで、この上なく有ること難し…つまり、有り難いことなのです。これから歩むことになる人生、どんなことに出会うのでしょうか。たとえどんなことがあっても「いのち恵まれてよかったね」と言い合える親子でありたいですね。



#### ののさまが見とってよっ!

「ののさま(※)が見とってよっ!」幼い頃、そう論されたことがあります。今になってみれば、そんな言葉が「自分は決して一人で生きているんじゃない」という思いや「おかげさま」と言える心を育ててくれたんだと思います。やさしく厳しく、そしてあたたかい。そんな見守り育てる目や心がいつもあると伝えることも、大切です。

(※子どもに仏さまのことをこう説明します)



### いのちの計は仏法にあり

「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。何事も最初にきちんとした展望をもつことが大切、という意味です。いのちの誕生は、この世に生を受けたいのちの船出。船旅のように人生の初めにも確かな展望やよりどころが大切といえます。仏教はその展望となるおしえ、真実のよりどころとなってくれるもの。まさに「いのちの計は仏法にあり」といえるかもしれません。



## 親と子どもは同い年

「子育て」と聞くと「親が子どもを育てていく」 ことばかり思い浮かべてしまいがち。しかし 親子の歩みは今始まったばかりです。「あな たがこの子の親になったのはこの子を授かっ た日です。この子が1歳ならあなたも1歳、 この子が3歳ならあなたも3歳。」とは、あ るご住職のお言葉。毎年迎える我が子の誕生 日は、親としてのあなたのもう一つの誕生日。 親子で一緒に成長です。



### 仏さまの願いを聞く

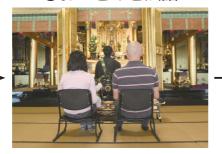
親はいつでも我が子の幸せを一番に願うものです。しかしその願いは煩悩を抱えた人間の願いである以上、時には子どもの負担になることや、人を傷つけてしまうこともあるかもしれません。お寺で聞くのは仏さまの願いの話。それは私たちに等しくかけられた、生きる意味を教えてくれる願いです。時には親子で立ち止まり、仏さまの話に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

初参式のながれ 式次第はお寺によって異なる場合があります。用意するものなど、事前に確認しておきましょう。

1 念珠・式章 授与



2おつとめと法話



❸お焼香



◆記念撮影など



初参式のお申し込みは、ご縁のあるお寺、または本願寺山口別院(TEL 083-973-4111)までお問い合わせください。